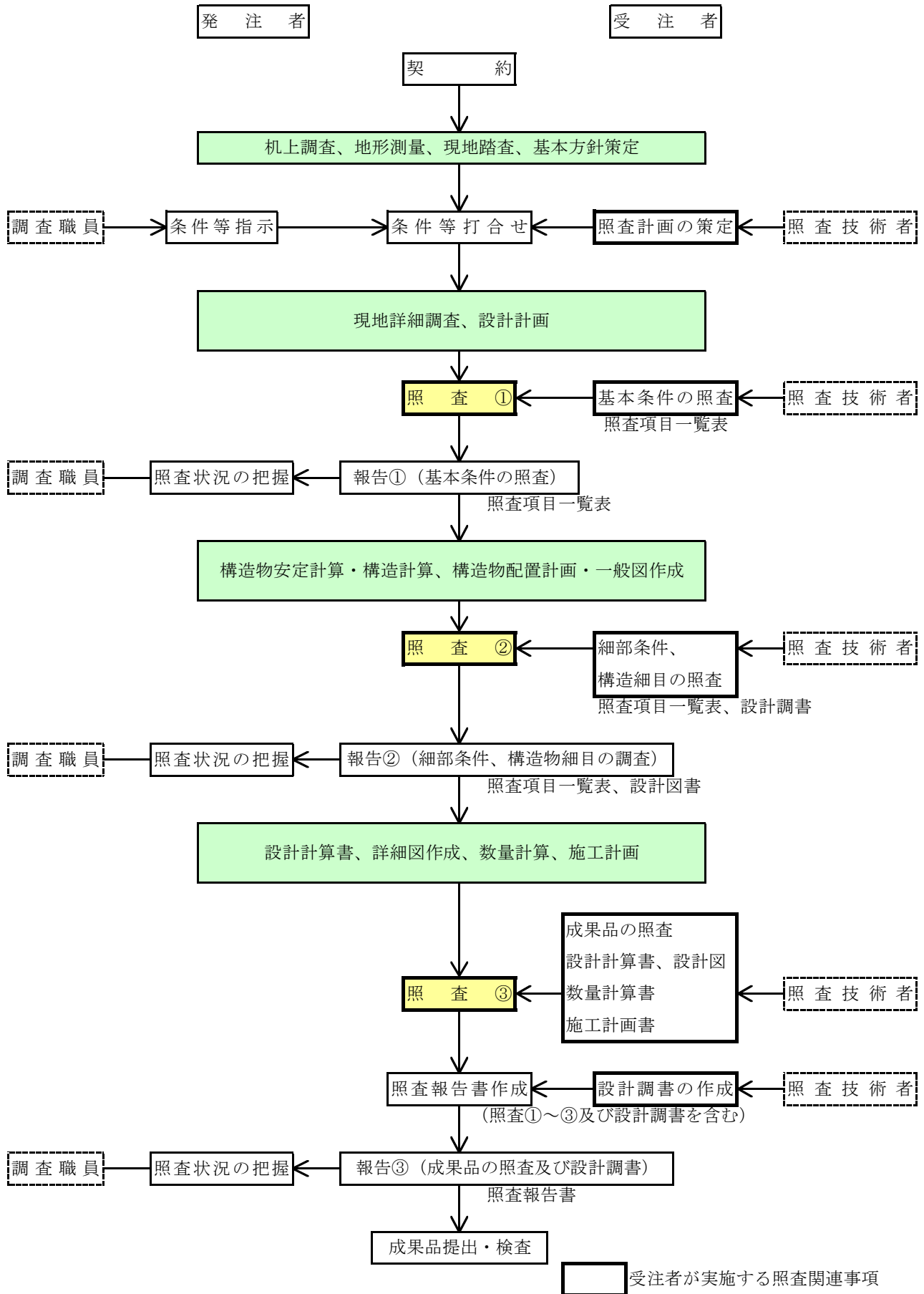


森林土木工事詳細設計照査要領

林道詳細設計照査要領

令和 8 年10月

林道 詳細設計 照査フローチャート



基本条件の照査項目一覧表
(照 査 ①)

業 務 名 : _____

発 注 者 名 : _____

受 注 者 名 : _____

照査の日付 : 令和 年 月 日 _____

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	照査項目	照査内容		照査①			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
1	設計の目的，主旨	1)	開設の目的・趣旨を把握したか。					
2	事前準備	1)	業務計画書を作成したか。					
		2)	T E C R I S の登録内容の確認依頼を行い確認後に登録をしたか。					
		3)	電子納品協議を作成したか。					
		4)	契約内容の設計の主な項目，工程等について具体的内容を把握したか。					
3	貸与資料の確認	1)	貸与資料の不足，追加事項があるか，リストを作成したか。					
		2)	事務所又は路線毎に統一された基準要領及び申し合わせ事項等があるか確認しリストを作成したか。					
4	設計条件	1)	本詳細設計路線の道路規格を把握したか。					
		2)	本詳細設計路線の設計速度を把握したか。					
5	現地測量等に関する留意事項	1)	ルート選定は，全体計画調査におけるルートを基本とし，細部調査の結果を踏まえて修正を行うことを把握したか。					
		2)	IP間距離は，地形を踏まえた距離に設定することを把握したか。					
		3)	IP杭は樹脂製の杭を使用し，設置位置は計画路線から離れすぎないようにすることを把握したか。					
		4)	測角は直接法（机上IP設定を除く）により測量し，往復確認することを把握したか。					
		5)	地形に沿った曲線設定をすることを把握したか。					
		6)	水準基標の（BM）設置は500m程度の間隔で堅固な場所に設置することを把握したか。					
		7)	センター杭は，照査②の現地打合せの段階には設置していなければならないことを把握したか。					
		8)	BMの設置は，施工前後で使用しやすい場所であり，往復確認を行わなければならないことを把握したか。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	照査項目	照査内容		照査①			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
6	協議承諾	1)	現地調査に入るための立入承諾は得られているか確認したか。					
7	全体計画等の把握	1)	全体計画に基づいたルート及び利用区域を把握したか。					
		2)	全体計画調査報告書から地形、地質、用・排水、土地利用等の全体的な主な状況を把握したか。					
		3)	全体計画調査報告書から交通状況、道路状況、河川状況等の全体的な主な状況を把握したか。					
		4)	全体計画調査から過去の災害記録における主な位置及び状況を把握したか。					
		5)	全体計画調査報告書等から希少動植物について主な種類及び留意事項を把握したか。					
		6)	全体計画調査報告書等から沿線における環境状況（日照、騒音、振動等）に配慮すべき施設等（畜産施設等）の種類及び場所を把握したか。					
		7)	全体計画調査報告書等から法令規則（保安林、砂防指定地、急傾斜指定等）の種類及び位置を把握したか。					
		8)	国立・国定・県立公園の区域と全体計画ルートとの関連を把握したか。					
		9)	全体計画調査報告書から計画ルートに関連する史跡、名勝、天然記念物、埋蔵文化財等について、把握したか。					
		10)	全体計画調査報告書から水系利用の位置及び種類等を把握したか。					
8	現地踏査	1)	地形、地質、用・排水、土地利用等について、現地状況を確認したか。					
		2)	交通状況、道路状況、河川状況について、現地状況を確認したか。					
		3)	沿線の環境状況（日照、騒音、振動等）に配慮すべき施設等の種類及び場所を確認したか。					
		4)	森林整備（間伐等）現地状況を確認したか。					
		5)	支障物件の種類及び場所等の状況を確認したか。（地下埋設物を含む）					
		6)	全体計画書に示された計画路線選定にあたっての留意点及び路線計画上講ずべき対策について内容を確認したか。（具体的に）					

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	照査項目	照査内容		照査①			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
9	軟弱地盤	1)	現地踏査において、計画ルートに軟弱地盤があることを把握したか。					
		2)	既設部分における軟弱地盤が判っている場合、過去の調査、解析内容を把握したか。					
		3)	測量段階での軟弱地盤の調査の必要性について、発注者と協議したか。					
		4)	軟弱地盤箇所周辺の環境及び用地条件を把握したか。					
		5)	残土予定地の受入条件で軟弱地盤受入は可能かを確認したか。					
		6)	側方流動の影響を受ける構造物（擁壁、橋梁、人家等）はないかを確認したか。					
10	(平面交差点) 路線及び交差点の位置、性格	1)	路線及び交差点位置の性格を把握したか。					
11	(平面交差点) 現地踏査	1)	交差道路の規制状況を確認したか。					
		2)	設計段階から気を付けるべき施工時の注意事項を把握したか。					
12	(平面交差点) 設計条件	1)	道路の構造、規格を把握したか。					
		2)	交差点形状を把握したか。					
		3)	平面交差の間隔を把握したか。					
		4)	方向別交通量を把握したか。					
		5)	設計車両を把握したか。					
13	(平面交差点) 協議調整事項の確認	1)	関係諸官庁、諸機関及び地元との協議調整事項の留意点を把握したか。					
14	(仮設構造物) 本体設計との整合	1)	仮設構造物と本體工との整合はとれている。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	照査項目	照査内容		照査①			確認資料	備考
				該当対象	確認	確認日		
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 （例）関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
15	（仮設構造物）設計の範囲，内容	1)	適用工法は，土留工・支保工（腹起こし，切ばり），締切工，路面覆工及び仮橋工に該当するか。					
		2)	隣接工区との関係の把握したか。					
		3)	本体工の施工手順を把握したか。					
		4)	本体工の供用時期を把握しているか。					
16	貸与資料	1)	貸与資料について，リストを作成したか。					
17	請求資料	1)	請求資料について，リストを作成したか。					
18	測量設計段階でわかる範囲の協議	1)	現地調査にあたり，事前に必要な協議のリストを作成したか。					
19	適用基準	1)	適用設計基準名，編集・発行元を整理したリストを作成したか。					
20	環境及び景観検討	1)	景観検討の必要性、方針、内容、範囲等を理解したか。また、遮音壁等の設置要件（位置、基礎構造）に問題はないか。					
		2)	景観検討の具体的方法、作成すべき資料等は明らかとなっているか。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容		照査①			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					確認日			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にわたる留意事項」を参照

細 部 条 件 の 照 査 項 目 一 覧 表
(照 査 ②)

業 務 名 : _____

発 注 者 名 : _____

受 注 者 名 : _____

照査の日付： 令和 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認	確認日		
					該当対象項目を抽出し○印を記入			
							確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
1	協議関連	1)	協議は諸条件と合致しているか。					
2	設計基本条件	1)	新技術の採用について検討したか。					
3	一般図	1)	平面図、縦断面図、横断面図は設計基本条件と整合が図られているか。					
1	現地測設	1)	全体計画による線形を基に踏査を実施し計画を反映したか。					
		2)	地形・地質の安定している箇所を通過する線形としたか。					
		3)	土質の確認、湧水状況等の現地確認をしたか。					
		4)	ヘアピン線形の重複を避けるよう考慮したか。					
		5)	IP間距離は、地形を踏まえた距離に設定したか。					
		6)	IP杭は樹脂製の杭（今後の路線管理でも必要なため）を使用したか。					
		7)	※当初打合せで、木杭と樹脂杭のどちらにするかを決定すること。					
		8)	BMの設置は、500m程度の間隔で堅固な場所に設置し、基準高については往復確認をしたか。					
		9)	センター杭として測点、プラス点、曲線杭及び変化点に杭が設置したか。					
		10)	横断つなぎのための杭の上下計算が正しいことを確認したか。					
2	幾何構造・道路規格・設計速度	1)	設計速度の例外規定を採用している場合は、交通安全施設を考慮したか。					
3	幾何構造 (曲線)	1)	曲線半径は、全て林道規程に従い作成したか。					
		2)	片勾配は、全て林道規程に従い正しく作成したか。					
		3)	曲線部の拡幅及び拡幅のすりつけ延長は、林道規程に従い全て正しか。					
		4)	曲線半径で例外規定の採用がある場合は、交通安全施設を設計したか。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入		
							確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
4	幾何構造 (縦断・横断)	1)	縦断勾配は、林道規程に従い全て正しく作成したか。					
		2)	縦断曲線は、設計速度に応じた林道規定値で全て正しく作成したか。					
		3)	横断勾配（片勾配等）は、林道規程に従い全て正しく作成したか。					
		4)	合成勾配は、林道規程に従い全て正しく作成したか。					
		5)	縦断勾配で例外規定の採用がある場合は、交通安全施設を設計したか。					
5	幾何構造 待避所・車廻し	1)	待避所は、林道規程に従い規格構造及び間隔について全て正しく作成したか。					
		2)	車廻しは、林道規程に従い正しい構造で作成し、工事車両や木材搬出等の利便性を考慮して配置したか。					
6	土工・法面	1)	切盛バランスを考慮して線形を検討したか。					
		2)	切土勾配及び盛土勾配は、全て技術基準等で定められた土質条件に応じた適正な勾配となっているか。					
		3)	切土断面の岩盤推定線は、地表面に岩盤が露出し、岩盤の存在が明らかな場合に検討したか。					
7	その他（コンクリート路面工）	1)	コンクリート路面工の適用区間は、全て基準に適合して作成したか。					
8	その他（標識等）	1)	標識等について、林道規程に従い全て適正な場所に設置する図面となっているか。					
9	その他（防護柵等道路付属物）	1)	防護柵等道路付属物の配置及び規格は適正か。					
10	その他（土量計算）	1)	土量計算について、概算数量を作成し、内容が正しいことを確認したか。					
11	関連道路対策	1)	既設道路取付について、幅員、道路勾配、延長について、利用実態を考慮した案を作成したか。					
12	協議関係資料	1)	測量設計委託段階でわかる範囲の実施段階で必要と考えられる他所管協議があるか。					
		2)	現地説明資料は整理されているか。 (現地立会に必要なセンター杭設置を含む)					
		3)	土砂の処理場の位置及び規模を確認したか。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
				該当対象項目を抽出し ○印を記入	照査を完了 した項目に ついて○印 を記入	その日付を 記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領 の概要「6. その 他記載等にあたっ ての留意事項」を 参照
13	擁壁工	1)	擁壁工の種別は、現地条件に合った選定をしたか。 (補強土壁等も含む)					
		2)	擁壁の規模は必要最小限であるか。					
		3)	全ての擁壁の高さ決定の根拠は正しいか。					
		4)	標準設計（断面表）の適用は正しいか。					
		5)	標準設計を適用しない場合は安定計算を実施したか。 (※安定計算根拠のわかる資料を添付すること)					
		6)	土質定数の想定根拠は正しいか。 (※安定計算根拠のわかる資料を添付すること。)					
		7)	プレキャスト製品の適用は適正か。					
		8)	基礎型式選定のための地盤条件（岩又は土砂）は整理したか。					
		9)	現道交通、隣接家屋への影響を配慮したか。					
		10)	補強土擁壁、大型ブロックの検討が必要か。 (別途照査項目一覧表を作成)					
14	排水施設	1)	排水施設は、林道規程及び基準等に従い設置条件にあった種別を選択したか。					
		2)	流出量の算定は、妥当か。（集水域、流出係数、降雨強度、確率年、算定式） (※流量計算根拠のわかる資料を添付すること)					
		3)	通水量の算定は、妥当か。（粗度係数等）					
		4)	断面決定の安全率は、基準に従い妥当か。					
		5)	湧水箇所について、安全に排水する処理対策を考慮したか。					
		6)	排水系統について、取水箇所から放流箇所までの流れ及び勾配について安全に処理できる図面になっているか。					
		7)	現場打ちとプレキャストの使い分けは適正か。					
		8)	管理上の問題は残されていないか。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入		
							確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
15	舗装	1)	舗装種別及び舗装厚の決定方法は、適正か。					
		2)	舗装構造の適用は、適正か。					
16	(平面交差点) 幾何構造	1)	平面及び縦断線形は適正か。					
		2)	幅員構成は適正か。					
		3)	視距、見通し距離は適正か。					
		4)	交差角は適正か。					
		5)	本線シフトは適正か。					
		6)	隅切りは適正か。					
17	(平面交差点) 用地条件	1)	用地幅杭表はあるか。					
18	(平面交差点) 関連道路	1)	主、従道路の優先関係は明確となっているか。					
		2)	副道等の取付方法は適正か。					
		3)	従道路の整備は適正か。					
19	(平面交差点) 計画条件の整理	1)	土工及び法面工の計画は適正か。(詳細設計との整合)					
		2)	小構造物及び構造物の計画は適正か。(詳細設計との整合)					
		3)	用、排水工の計画は適正か。(詳細設計との整合)					
		4)	舗装工の計画は適正か。(詳細設計との整合)					
20	(平面交差点) 協議関連	1)	協議内容と諸条件は合致しているか。					
21	(平面交差点) 施工計画	1)	工区分けは適正か。(暫定施工の有無を含む)					
		2)	施工性に問題はないか。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入		
							確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
22	(平面交差点)設計計算	1)	暫定施工の考え方に問題はないか。					
		2)	片勾配, 拡幅のすりつけに問題はないか。					
		3)	用・排水の系統及び通水断面に問題はないか。					
		4)	既存・類似設計との設計条件, 適用範囲を比較確認しているか。					
23	(平面交差点)土工及び法面	1)	切土断面の岩盤推定線は妥当か。					
		2)	用地の余裕幅は適正か。					
24	(仮設構造物)設計基本条件	1)	設計基準に準じているか。また, その適用範囲内か。(道路土工-仮設構造物工指針等, 河川に係る場合は仮締切堤設置基準(案), 河川管理施設等構造令等)					
		2)	工法比較検討は適正か。					
		3)	土質定数の設定は適性か。 (単位体積重量, 内部摩擦角, 粘着力, 透水係数等)					
		4)	設計荷重は適正か。(死荷重, 活荷重, 特殊荷重, 土圧等)					
		5)	使用材料, 材質, 強度等の確認を行ったか。(生材, リース材等)					
		6)	地震時を考慮するか。					
		7)	対象水位は適切か。(自然水位, 被圧水位)					
		8)	施工基面を確認したか。					
		9)	騒音, 振動の規制値を把握したか。					
		10)	工事車両の想定は適切か。					
		11)	全体計画(工程)を見据えた仮設計画を検討したか。					
		12)	測量設計委託段階でわかる範囲で河川計画の有無を確認したか。(河川管理者への確認)					
		13)	関係機関との協議内容を反映しているか。					
		14)	土留壁の変位制限を設けるか。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
				該当対象項目を抽出し ○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
25	(仮設構造物) 施工上の基本条件	1)	本体工との離れ等の関係は適正か。					
		2)	運搬路、迂回路は適切か。					
		3)	施工時の用地占有及び近接状況の確認がなされているか。					
		4)	工事時期と工程が明確になっているか。					
		5)	覆工の必要性の検討はなされているか。					
		6)	近接構造物等への影響を考慮したか。					
		7)	一般交通の安全性は考慮されているか。					
		8)	歩行者の通路は確保されているか。					
		9)	騒音、振動対策は必要ないか。					
		10)	杭の施工方法は適正か。					
		11)	付替え水路工は適切か。					
		12)	関係法規の基準値を満足するか。					
		13)	特殊機械を使用する場合は、その理由を明確にしているか。					
26	(仮設構造物) 関係機関との調整	1)	埋設物の切廻し又は仮受け等について、関係機関との協議がされているか。					
		2)	交通切廻しの計画について、関係機関との協議がなされているか。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入		
							確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
27	(仮設構造物) 軟弱地盤	1)	軟弱地盤対策の既存調査結果は、目的にあった調査、解析であり不足はないか。					
		2)	地質調査は、目的にあった調査、解析をしているか。 (盛土部の基礎地盤調査も含む)					
		3)	盛土材の土質試験はしたか。また、その土質定数は整理したか。					
		4)	盛土施工に軟弱地盤を流用する条件整理をしたか。					
		5)	軟弱地盤対策は、適正か。					
		6)	盛土施工厚と施工工程とのバランスの検討をしたか。 (地盤強度増加と施工時及び完成後の盛土の安定性)					
		7)	盛土工程の検討は適切か。 (一般盛土部、構造物、水路、切り回し等)					
		8)	側方流動の影響を受ける構造物（擁壁、橋台等）はないか検討したか。					
		9)	対策工の必要性と工種及びその範囲は適正か。 ①盛土安定対策 ②切土安定対策 ③沈下対策 ④その他対策					
		10)	サンドマットの施工の必要性を検討したか。また、サンドマットの厚さは施工性を考慮し検討したか。					
		11)	動態観測の必要性及び計画を検討したか。					
		12)	沈下量を土量計算に加味したか。					
		13)	用排水路で沈下すると不都合なものについて検討したか。					
		14)	環境、用地に対する制限はないか。					
		15)	置換残土の処理場は確保したか。※軟弱地盤の状況によっては、残土受入をしてもらえない場合がある。					
28	貸与資料	1)	貸与資料について、リストを作成したか。					
29	請求資料	1)	請求資料について、リストを作成したか。					
30	事前及び今後の想定される対外協議事項と内容	1)	測量設計段階でわかる範囲で今後必要と考えられる協議対象とその内容を概略整理したか。（発注後に問題とならないようにするためのメモとして）					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					確認日			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照

成 果 品 条 件 の 照 査 項 目 一 覧 表

(照 査 ③)

業 務 名 : _____

発 注 者 名 : _____

受 注 者 名 : _____

照査の日付： 令和 年 月 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

成果品の照査項目一覧表（様式－３）

No.	照査項目	照査内容		照査③			確認資料	備考
				該当対象	確認	確認日		
							確認できる資料の名称、頁等を記入 （例）関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照
1	成果品の照査 設計計算書	1)	打合せ事項は、全て反映されているか。					
		2)	安定計算結果は、全て許容値を満たすか。					
		3)	擁壁の水に関する条件は全て適正か。					
		4)	排水施設の安全率は、確保されているか。					
		5)	隣接工区との整合は取れているか。					
2	成果品の照査 設計図（全般）	1)	森林整備保全事業調査、測量、設計及び計画業務標準仕様書第3編設計業務等標準仕様書の表6－1林道設計成果品一覧表のとおり作成したか。					
		2)	森林整備保全事業調査、測量、設計及び計画業務標準仕様書第3編設計業務等標準仕様書の表6－2林道設計設計図のとおり作成したか。					
		3)	森林整備保全事業調査、測量、設計及び計画業務標準仕様書第3編設計業務等標準仕様書の表6－3林道設計数量計算のとおり作成したか。					
		4)	調査路線等における各種調査測量設計の概要、工事施工上特に必要と認められる現地条件、留意事項について、取りまとめられているか。					
3	成果品の照査 設計図（平面図）	1)	中心線及び道路区画線等の線種及び表示及び繋がりは適正に記載しているか。					
		2)	IPの◎及び測点の○の中心は中心線上に表示しているか。（変更等において複写して利用する際にずれの原因となり正確な複写ができないため）					
4	成果品の照査 設計図（縦断面図）	1)	地盤線、計画縦断線、縦断曲線の線種及び記載は適正か。					
5	成果品の照査 測点一覧表	1)	測点一覧表について、延長、幅員、基準高、高低差、縦断勾配、横断勾配、路肩基準高等の必要な数値を表示して作成したか。					
6	成果品の照査 横断面図	1)	不陸整正の幅、横断勾配、中心線移動及び重心距離等の表示は適正か。					
		2)	用地境界の表示は適正か。					

成果品の照査項目一覧表（様式－３）

No.	照査項目	照査内容		照査③			確認資料	備考
				該当対象	確認	確認日		
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
7	成果品の照査 土工標準図	1)	土工標準図について、掘削等の標準的な勾配及び幅等の考え方、構造物の形状、寸法等を適正に記載したか。					
8	成果品の照査 数量計算	1)	数量計算に用いた寸法、記号は図面と一致するか。					
		2)	数量取りまとめは、種類毎に、材料毎に、打合せ区分毎にまとめられているか。					
9	成果品の照査 報告書設計説明書	1)	設計条件、構造物の規模、型式等の決定に至る経緯、検討内容、施工上留意すべき事項等について簡潔に記載したか。					
		2)	条件設定の考え方が整合しているか。					
		3)	比較検討の結果が整合しているか。					
		4)	打合せ事項は全て反映したか。					
		5)	工事発注に際しての留意事項が記述されているか。					
		6)	設計基準値を技術基準等より引用している場合は、出典書名及びページを明記したか。					
		7)	測量設計段階でわかる範囲の実施段階で考えられる協議事項について、留意事項を記載したか。					
		8)	環境（騒音、振動）面の対応、景観性は適正か。					
10	成果品の照査 構造図（擁壁工）	1)	詳細平面図、詳細縦断面図、詳細横断面図は、必要に応じて適正に作成されているか。					
		2)	構造物の正面図、側面図、平面図等の作成について必要な形状、寸法、角度、勾配、材料名、数量等の表示は適正か。					
		3)	構造物の曲線部における天端前面延長、天端後面延長、底前面延長、底後面延長、基礎前面延長、基礎後面延長等について、寸法を表示したか。					
		4)	ブロック積擁壁等において、水抜きパイプ及び吸出防止材については諸雑費として計上するため数量について（ ）書きなど他の数量と区別できる表示としているか。					
		5)	補強土壁は、各層の敷設材の幅、延長、種類、規格等を記入した投影図等を作成したか。					
		6)	鉄筋使用がある場合は、鉄筋の種類、規格、寸法等を記入した配筋図及び鉄筋加工図、鉄筋の重ね量等の図面表示をしたか。					

成果品の照査項目一覧表（様式－３）

No.	照査項目	照査内容		照査③			確認資料	備考
				該当対象	確認	確認日		
					該当対象項目を抽出し○印を記入			
							確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
11	成果品の照査構造図（排水施設）	1)	詳細平面図，詳細縦断面図，詳細横断面図は，必要に応じて適正に作成されているか。					
		2)	排水施工の正面図，側面図，平面図等の作成について必要な形状，寸法，角度，勾配，材料名，数量等の表示は適正か。					
		3)	排水施設（側溝）の勾配は縦断面図の緩勾配区間において，横断勾配の片勾配から両勾配等による縦断方向の側溝部分の勾配が確保できているか検討したか。					
		4)	数量計算に必要な構造寸法の表示があり，図面上に記載した寸法を使用して計算したか。					
		5)	排水施設の勾配の基礎となる上流及び下流の基準高，水平距離及び斜距離を記載したか。					
12	成果品の照査（附帯工図面）	1)	附帯工水路工がある場合，平面図，縦断面図，横断面図等作成は適正か。					
		2)	附帯工構造図がある場合，正面図，側面図，平面図等の作成について必要な形状，寸法，角度，勾配，材料名，数量等の表示は適正か。					
		3)	残土場について，位置図，平面図，縦断面図，横断面図，構造図，数量計算等の作成は適正か。					
		4)	作業ポイントについて，平面図，縦断面図，横断面図，構造図，数量計算等の作成は適正か。					
13	成果品の照査（用地図面）	1)	用地測量の成果を基に，地積測量又は面積計算を行い，所定の用地図及び関係図面の作成は適正か。					
14	成果品の照査（協議図面）	1)	取付等他所管等の協議内容と適合する図面となっているか。					
15	赤黄チェック	1)	赤黄チェック等により照査したか。					

成果品の照査項目一覧表（様式－３）

No.	照査項目	照査内容		照査③			確認資料	備考
				該当対象	確認	確認日		
							確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に あたっての留意事項」を参照
16	報告書	1)	報告書の構成は妥当か。また、特記仕様書の内容を満足しているか。					
		2)	打合せや協議事項は反映されているか。					
		3)	設計条件の考え方が整理されているか。					
		4)	比較検討の結果が整理されているか。					
		5)	工事発注時に仕様書で指定すべき事項・条件明示すべき事項が明記されているか。					
		6)	「電子納品要領（案）」に基づいて適正に作成したか。					
		7)	今後の課題、施工上の申し送り事項及び工事発注に際しての留意事項が記述されているか。					
17	TECRIS	1)	TECRISの内容について、発注者と確認を行ったか。					

成果品の照査項目一覧表（様式－３）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容		照査③			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					確認日			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照